

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)

【公開番号】特開 2001-236253 (P2001-236253A)

【公開日】平成 13 年 8 月 31 日 (2001.8.31)

【出願番号】特願 2000-46675 (P2000-46675)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 12/00

G 0 6 F 3/06

G 0 6 F 12/16

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 3 1 M

G 0 6 F 3/06 3 0 4 F

G 0 6 F 12/16 3 1 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 19 日 (2003.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】複数の記録媒体を利用したデータバックアップ装置およびプログラム記憶媒体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の記録媒体に格納された複数のデータセットを複数の第 2 の記録媒体にバックアップする装置であって、

上記第 1 の記録媒体に格納された複数のデータセットを読み出す読出し手段と、

上記読出し手段により読み出された複数のデータセットを上記複数の第 2 の記録媒体に書き込むための複数の書込み処理を実行する書込み手段と、

上記複数のデータセットを上記複数の第 2 の記録媒体へのバックアップ時間を各データセット毎に検出する検出手段と、

過去の上記検出手段により検出されたデータセット毎のバックアップ時間に基づいて、該データセットを上記並列的に実行される複数の書込み処理に割り当てる割り当て手段と、を有するバックアップ装置。

【請求項 2】

上記割り当て手段は、上記並列的に実行される複数の書込み処理の処理時間が均一または略均一になるように、上記複数のデータセットをそれらの書込み処理に割り当てることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

上記割り当て手段は更に、過去にバックアップ処理が実行されたデータセットについて、過去に上記検出手段により検出されたバックアップ時間に基づいて、次のバックアップ処理に要するであろう予測時間を算出する第 1 の算出手段と、

過去にバックアップ処理が実行されていないデータセットについて、そのデータセットのデータ量に基づいて、次のバックアップ処理に要するであろう予測時間を算出する第2の算出手段を含み、

上記第1および第2の算出手段により算出される各データセットについての予測時間に基づいて、それらのデータセットを上記並列的に実行される複数の書込み処理に割り当てることを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項4】

第1の記録媒体に格納された複数のデータセットを複数の第2の記録媒体にバックアップする装置であって、

上記第1の記録媒体に格納された複数のデータセットを読み出す読出し手段と、

上記読出し手段により読み出された複数のデータセットを上記複数の第2の記録媒体に書き込むための複数の書込み処理を実行する書込み手段と、

上記複数のデータセットの各データ量を検出する検出手段と、

上記検出手段により検出されたデータセット毎のデータ量に基づき、該データセットを上記並列的に実行される複数の書込み処理に割り当てる割当て手段と、

を有するバックアップ装置。

【請求項5】

第1の記録媒体に格納された複数のデータセットを複数の第2の記録媒体にバックアップする場合においてコンピュータに、

上記第1の記録媒体から上記複数のデータセットを読み出し、該複数のデータセットを上記複数の第2の記録媒体に書き込むための複数の書込み処理を実行するステップと、

上記複数のデータセットを上記複数の第2の記録媒体にバックアップする時間を各データセット毎に検出するステップと、

過去に検出されたデータセット毎のバックアップ時間に基いて、それらのデータセットを上記並列的に実行される複数の書込み処理に割り当てるステップと、

をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータが読取り可能な記録媒体。

【請求項6】

上記割当てステップは、上記並列的に実行される複数の書込み処理時間が均一または略均一になるように、上記複数のデータセットをそれらの書込み処理に割り当てることを特徴とする請求項5に記載のプログラムを記録したコンピュータが読取り可能な記録媒体。